

## 第4章 保健医療従事者の確保・養成

### 第1節 医師（医師確保計画）

岐阜県保健医療計画の一部（別冊）として、法第30条の4第2項第11号に規定する「医師の確保に関する事項」について定めている。

#### 1 計画の概要

##### （1）医師確保計画の概要

- 「医師少数都道府県・医師少数区域」等における医師確保の方針を検討し、全県及び二次医療圏等の医療提供体制の整備を目的として策定。
- 計画期間は令和6年度から令和8年度までの3年間。長期的には、令和18年度（2036年度）までに医師偏在是正を達成することが目標。
- 産科・小児科については、政策医療の観点等の理由で医師全体の医師確保計画とは別に策定。

##### （2）岐阜県医師確保計画【令和2年度～令和5年度】の効果の測定・評価

- 岐阜県医師確保計画【令和2年度～令和5年度】に係る目標医師数の達成状況について、病床機能報告から医師の増減率を算出し、計画終了時（令和5年度）の医師数を推計。県全体においては目標医師数を達成できる見込みの一方、西濃、飛騨圏域は達成できない見込み。

表 岐阜県医師確保計画【令和2年度～令和5年度】の目標達成状況（推計）

	目標 医師数	医療施設従事 医師数(R2年)	計画終了時の医師数 (増減数)(R5年推計)	目標達成 状況
県全体	4,553	4,442	4,629(187※)	達成
西濃	664	618	615(-3※)	未達成
飛騨	287	267	277(10※)	未達成

※（ ）内はR2→R5(推計)の増減数

#### 2 医師全体の医師確保計画

##### （1）医師偏在指標

- 都道府県、二次医療圏ごとに全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する指標として厚生労働省が医師偏在指標を算出し可視化。
- 医師偏在指標の値を全国で比較すると、本県は医師偏在指標が下位33.3%の医師少数都道府県に該当。また、下位33.3%に該当する西濃圏域・飛騨圏域を医師少数区域に、上位33.3%に該当する岐阜圏域を医師多数区域に設定。

表 医師偏在指標

区分	医師偏在指標 (R2年三師統計より)	全国順位	備考
全国	255.6	—	
岐阜県	221.5	35/47	医師少数県
岐阜	275.6	54/330	医師多数区域
西濃	168.1	244/330	医師少数区域
中濃	190.5	192/330	
東濃	201.0	155/330	
飛騨	168.0	246/330	医師少数区域

## (2) 医師少数スポットの設定

- 必要に応じて、医師少数区域以外で、二次医療圏よりも小さい単位の局所的に医師が少ない地域を「医師少数スポット」として定めることで、医師少数区域と同様に取扱うことが可能。
- 医師少数区域以外のへき地診療所が設置されている地区であって、他の地域の医療機関へのアクセスが制限されている以下の14地域を医師少数スポットに設定。

区分	市町村名	地区名
岐阜	本巣市	根尾
中濃	関市	板取、洞戸
	郡上市	和良、石徹白、小那比、高鷲
	東白川村	東白川
東濃	中津川市	蛭川、川上
	恵那市	飯地、山岡、三郷、串原

## (3) 目標医師数

- 目標医師数は、計画期間終了時の医師偏在指標が、計画期間開始時の全都道府県又は全二次医療圏の下位33.3%の基準に達するために必要な医師の数として国から提示されている。本県においては、上記目標医師数を既に達成しているため、医師偏在指標の推移及び令和8年の推計人口並びに令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計（厚生労働省）等の結果を踏まえ、県で目標医師数を設定。

医療圏	区分	医療施設従事 医師数(R2年)	医療施設従事 医師数(R4年)	R8年度 目標医師数
岐阜県	医師少数県	4,442	4,505	4,703
西濃	医師少数区域	618	616	716
飛騨		267	278	304
中濃	中位の区域	626	645	678
東濃		619	621	650
岐阜	医師多数区域	2,312	2,345	2,355

## (4) 今後の施策（主なもの）

- 医師少数区域等で勤務する医師を養成・確保するため、岐阜大学医学部地域枠における過疎地域等出身者を対象とした「地域医療コース」を継続
- 岐阜県医学生修学資金制度を継続
- 地域枠医学生に対する卒前からのキャリア形成支援及び岐阜県医師育成・確保コンソーシアムによる地域枠卒業医師に対するキャリア形成支援の実施
- 自治医科大学医学生に対する卒前からのキャリア形成支援及び自治医科大学卒業医師に対するキャリア形成支援の実施
- 臨床研修医を確保するため、臨床研修病院に対する民間主催の合同説明会への出展支援や岐阜県臨床研修病院合同説明会を開催
- 専攻医を確保するため、県内基幹施設の専門研修にかかる合同説明会等を開催
- 医師の働き方改革を踏まえ、タスク・シフトの推進等による医師の負担軽減等、勤務医が健康を確保しながら働くことができる勤務環境の整備を支援
- 岐阜県医療勤務環境改善支援センターによる医師の長時間労働の是正等、勤務環境の改善に向けた支援を実施
- へき地における患者の医療機会の確保及び往診や訪問診療を行う医療機関の負担軽減に向けて、オンライン診療の推進に係る取組みを支援
- 医療の地域格差を解消し、医療の質及び信頼性を確保するため、遠隔画像診断等を実施する医療機関に対し、機器整備導入に対する支援を実施
- 地元出身の医師を志す人材の発掘を目的とした中高生を対象とする医療セミナーを開催

### 3 産科・小児科における医師確保計画

#### (1) 分娩取扱医師偏在指標・小児科医師偏在指標

- 産科については、分娩取扱医師偏在指標の値を全国で比較すると、本県は医師偏在指標が下位 33.3%の相対的医師少数都道府県に該当。また、下位 33.3%に該当する西濃圏域・中濃圏域を相対的医師少数区域に設定。
- 小児科については、小児科医師偏在指標の値を全国で比較し、下位 33.3%に該当する中濃圏域・飛騨圏域を相対的医師少数区域に設定。

表 分娩取扱医師偏在指標・小児科医師偏在指標

区分	産科			小児科		
	R2分娩取扱 医師偏在指標	全国順位	備考	R2小児科 医師偏在指標	全国順位	備考
全国	10.5			115.1		
岐阜県	9.5	33/ 47	相対的医師 少数県	109.7	29/ 47	
岐阜	12.5	57/263		130.6	64/303	
西濃	6.2	229/263	相対的医師 少数区域	92.4	199/303	
中濃	6.0	235/263	相対的医師 少数区域	82.1	246/303	相対的医師 少数区域
東濃	8.4	154/263		97.7	178/303	
飛騨	8.3	158/263		91.7	203/303	相対的医師 少数区域

#### (2) 今後の施策（主なもの）

- 総合周産期母子医療センターやそれを支える地域周産期母子医療センターの新生児集中治療室（NICU）、回復治療室（GCU）、母体・胎児集中治療室（MFICU）への必要な支援を実施
- 県内の医療機関において勤務し、地域医療に貢献する意思のある産科・小児科等の専攻医を対象とした研修資金の貸付けを実施
- 産科・小児科医を含めた専攻医を目指す若手医師（初期臨床研修医等）に向けた、県内の専門研修にかかる合同説明会等を開催
- 産科医等に対する処遇改善のため、分娩を取り扱う産科医や新生児担当医に手当を支給する医療機関に対する助成を実施
- 医師の働き方改革を踏まえ、タスク・シフトの推進等による医師の負担軽減等、勤務医が健康を確保しながら働くことができる勤務環境の整備を推進
- 地元出身の医師を志す人材の発掘を目的とした中高生を対象とする医療セミナーを開催